

# 令和元年度 泉大津市決算特集

## 令和元年度決算の概要

令和元年度の一般会計における最終予算現額は 292 億 8,635 万円で、この予算に対する決算額は、歳入が 283 億 969 万円、歳出が 278 億 2,156 万円で、差し引き 4 億 8,813 万円となりました。このうち翌年度へ繰り越すべき財源 3,744 万円を差し引いた実質収支の額は 4 億 5,069 万円となり、16 年連続の黒字決算となりました。

### 令和元年度決算の概要

会計名	決算額		形式収支額 (A) (歳入-歳出)	繰り越すべき 財源 (B)	実質収支額 (A-B)
	歳入	歳出			
一般会計	283 億 969 万円	278 億 2,156 万円	4 億 8,813 万円	3,744 万円	4 億 5,069 万円

※端数処理の関係上、歳入・歳出および形式収支額などの計が一致しないことがあります。

### ◎一般会計 歳入の概要

①市税…歳入の根幹である市税は、個人市民税で 9,112 万円の増、法人市民税で 3,680 万円の増、市たばこ税で 1,122 万円の増など、全体で前年度比 1.3%増の 116 億 7,757 万円となりました。

②税外収入…財産収入は土地売却収入で 8,901 万円の減、繰越金では前年度純剰余金で 1 億 223 万円の減などがあった一方、寄附金ではふるさと応援寄附金で 2 億 9,140 万円の増、諸収入では給食費で 6,020 万円の増などがあり、全体で前年度比 9.5%増の 24 億 7,521 万円となりました。

③国庫支出金…児童手当負担金で 3,742 万円の減、史跡等購入に係る補助金で 2,718 万円の減があった一方、障がい者総合支援負担金で 7,999 万円の増、プレミアム付き商品券に係る補助金で 7,985 万円の増などにより、前年度比 7.4%増の 52 億 7,755 万円となりました。

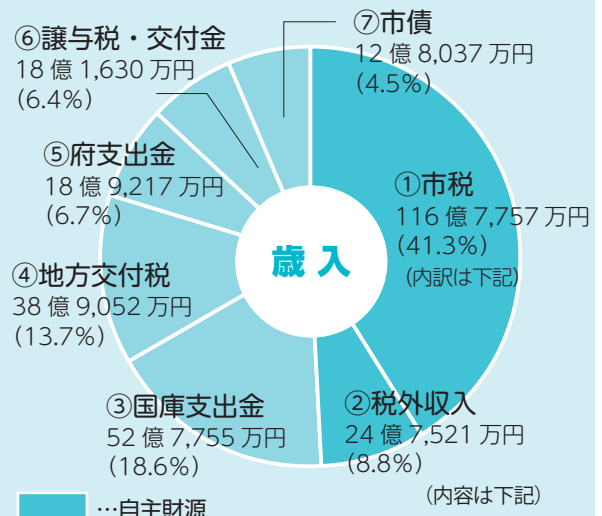
④地方交付税…地方財源の均衡化を図るため、国税の一定割合などが地方公共団体に交付されるもので、前年度比 7.4%増の 38 億 9,052 万円となりました。

⑤府支出金…老人医療費等助成事業に係る補助金で 2,345 万円の減、大阪府新子育て支援交付金で 1,086 万円の減などがあった一方で、障がい者総合支援負担金で 4,743 万円の増、重度障がい者医療費等助成事業に係る補助金で 1,819 万円の増などにより、前年度比 2.9%増の 18 億 9,217 万円となりました。

⑥譲与税・交付金…地方消費税交付金は 6,059 万円減の 12 億 5,077 万円となり、そのうち社会保障財源にあたる 5 億 5,372 万円を障がい福祉サービス給付などの社会保障施策の財源として活用しました。全体では、前年度比 3.4%増の 18 億 1,630 万円となりました。

⑦市債（借入金）…公園緑化施設災害復旧事業債で 6,290 万円の増などがあった一方で、旧市民会館除却事業債で 4 億 30 万円の減、消防庁舎施設除却事業債で 5,440 万円の減などにより、前年度比 37.3%減の 12 億 8,037 万円となりました。また、借換債を除いた実質的な決算額は前年度比 28.2%減の 12 億 4,927 万円となりました。

## 歳入 283 億 969 万円



■…自主財源  
地方自治体の権限で収入できる財源

■…依存財源  
国や府の意思決定に基づき交付される財源

( )…予算に占める割合

### 〔①市税〕の内訳

個人市民税	38億2,563万円
法人市民税	9億3,766万円
固定資産税	52億2,920万円
軽自動車税	1億1,717万円
市たばこ税	5億8,822万円
都市計画税	9億7,969万円

### 〔②税外収入〕の内容

諸収入、使用料及び手数料、繰越金、分担金及び負担金、財産収入、繰入金、寄附金

## 市民 1 人あたりの市税負担額

(令和元年度末時点での住民登録人口により算出)

# 15 万 6,912 円

# 歳出 278億2,156万円

財政用語については、こちらからご確認ください。→



歳出の決算は、経費の経済的な性質に着目した「性質別分類」と行政目的に着目した「目的別分類」に分類することができます。性質別分類では令和元年度の概要を、目的別分類では市民1人あたりの歳出額をお知らせします。

## ◎ 一般会計 歳出の概要

### 【義務的経費】

①**扶助費**…障がい者総合支援給付事業で1億9,591万円の増、特定教育・保育施設施設型給付事業で8,554万円の増などにより、**前年度比4.3%増の85億5,627万円**となりました。

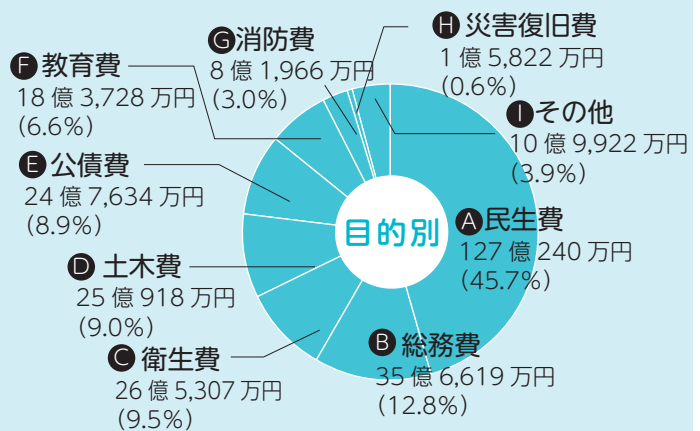
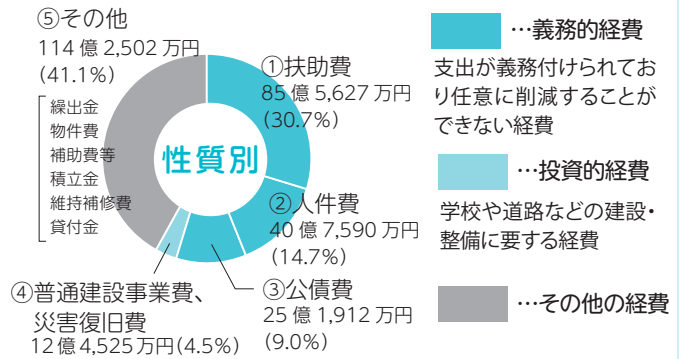
②**人件費**…職員給与で1,648万円の増、退職手当で1億552万円の増により**前年度比3.4%増の40億7,590万円**となりました。

③**公債費**…市債の返済に要する経費で、前年度比14.3%減の25億1,912万円、借換えに伴う支出額を除いた実質的な決算額は、**前年度比5.6%減の24億8,802万円**となりました。

### 【投資的経費】

④**普通建設事業費**…保健センター施設整備事業で8,316万円の増、幼稚園耐震化事業で3,685万円の増などにより、**前年度比18.2%増の10億7,997万円**となりました。

**災害復旧費**…公園緑化施設災害復旧事業で5,722万円の増、小学校災害復旧事業で2,338万円の増などにより、**前年度比165.2%増の1億6,528万円**となりました。



目的別歳出を市民一人あたりに置き換えると…（令和元年度末時点での住民登録人口により算出）

歳出総額	民生費 (高齢者や児童の福祉に)	総務費 (窓口業務、税金徴収に)	衛生費 (ごみ処理や病気予防に)	土木費 (道路、河川、公園整備に)	公債費 (借入金の返済)	教育費 (学校、公民館、学習活動に)	消防費 (消防活動、防災活動に)	災害復旧費 (災害復旧事業に)
37万3,840円	17万683円	4万7,919円	3万5,649円	3万3,716円	3万3,275円	2万4,688円	1万1,014円	2,126円
								その他 (議会、商工、農林水産に)
								1万4,770円

## ■ 特別会計と企業会計の決算状況

（端数処理の関係上、歳入・歳出および形式収支額などの計が一致しないことがあります。）

会計名	決算額		形式収支額 (歳入-歳出) (A)	翌年度へ 繰り越すべき 財源(B)	実質収支額 (A-B)
	歳入	歳出			
特別会計	193億6,695万円	190億5,142万円	3億1,553万円	8万円	3億1,545万円
土地取得事業特別会計	9億1,670万円	9億1,670万円	0万円	0万円	0万円
国民健康保険事業特別会計	82億7,537万円	82億85万円	7,452万円	0万円	7,452万円
介護保険事業特別会計	53億7,983万円	53億3,775万円	4,208万円	0万円	4,208万円
後期高齢者医療特別会計	9億2,359万円	8億9,758万円	2,601万円	0万円	2,601万円
下水道事業特別会計	38億7,146万円	36億9,854万円	1億7,292万円	8万円	1億7,284万円

会計名	流動資産(A)	流動負債(B)	資金過不足額 (A-B)
企業会計	38億6,286万円	35億1,212万円	3億5,074万円
病院事業会計	9億5,368万円	29億9,419万円	▲20億4,051万円
水道事業会計	29億918万円	5億1,793万円	23億9,125万円

# 令和元年度決算における健全化判断比率と 資金不足比率（暫定値）を公表します。

■ 健全化判断比率：4指標 ※黒字である場合には「-」の表示となります。

指標名	概要	泉大津市		国の基準	
		比率		早期健全化基準	財政再生基準
		元年度	30年度	元年度	元年度
実質赤字比率	標準財政規模に対する一般会計等の赤字の割合	-	-	12.66%以上	20.00%以上
連結実質赤字比率	標準財政規模に対する全会計の赤字の割合	-	-	17.66%以上	30.00%以上
実質公債費比率	1年間の収入に対する借入金返済の負担を3か年の平均で示した割合	10.4%	11.9%	25.0%以上	35.0%以上
将来負担比率	標準財政規模に対する将来本市が支払う借入金返済の割合	47.9%	68.2%	350.0%以上	

■ 資金不足比率 ※不足額がない場合には「-」の表示となります。

指標名	事業名	概要	泉大津市		国の基準
			元年度	30年度	経営健全化基準
資金不足比率	水道事業会計	公営企業の事業規模に対する資金不足の割合。この割合が高い場合、経営状況が悪いことを指します。	-	-	20.0%以上
	病院事業会計		16.4%	8.8%	
	下水道事業特別会計		-	-	

## 借入金と財産の状況

(令和2年6月30日時点)

### ■ 市の借入金（市債・企業債）現在高

会計名	現在高
一般会計	265億6,964万円
土地取得事業特別会計	17億7,154万円
下水道事業特別会計	219億4,839万円
水道事業会計	31億3,558万円
病院事業会計	36億7,948万円
合計	571億 463万円

市民一人当たり置き換えると…

(令和2年6月30日時点での住民登録人口により算出)

借入金(市債・企業債)	76万円
財産	9万円



### ■ 市の財産現在高

区分		現在高
有価証券		2,350万円
基金	泉大津市財政調整基金	29億5,720万円
	泉大津市都市施設整備基金	2億5,270万円
	泉大津市福祉基金	2,246万円
	交流とふれあいのまちづくり基金	2億5,737万円
	泉大津市減債基金	3億8,502万円
	深喜人材育成基金	1億3,179万円
	泉大津市公園墓地基金	5,045万円
	泉大津市介護給付費準備基金	4億3,521万円
	辻川穂太郎やすらぎ基金	8,917万円
	泉大津市がんばろう基金	4,202万円
	佐野幸子基金	1,408万円
	泉大津市地域環境基金	1億1,589万円
	八木稔すこやか基金	5,947万円
	泉大津市環境整備資金貸付基金	6,236万円
	泉大津市営住宅整備基金	3億5,972万円
	テクスピア大阪産業振興整備基金	4億3,852万円
	泉大津市セーフコミュニティ基金	5,699万円
	泉大津市ふるさと応援基金	7億9,656万円
	泉大津市下水道基金	2億8,780万円
	泉大津市公共施設整備基金	4億9,503万円
	泉大津市国民健康保険事業財政調整基金	7,904万円
	駐車場整備基金	1,066万円
	森林環境譲与税基金	286万円
	小計	74億 237万円
	合計	74億2,587万円